

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「小布施英会話帖」の作成～外国人観光客へのおもてなしの充実による小布施町へのインバウンド強化とボランティアガイドの育成
事業主体 (連絡先)	小布施文化観光協会 026-214-6300
事業区分	(6) ア特色ある観光地づくり エ商業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,879,200 円 (うち支援金: 1,409,000 円)

事業内容

○英会話ワークショップの開催

町内に住む英語を母国語とする外国人 2 名を講師に招き、接客の英会話のワークショップを開催。対象は、町民によるボランティアガイド、町内飲食店、小売店、宿泊業者など観光に携わる人たち。「観光・道案内」「販売」「食事」「宿泊」「歴史」「その他」のテーマを設け 8 回開催。参加者は延べ 104 人。

○「小布施英会話帖」の作成

ワークショップで出された英語フレーズを再編集し 1 冊の本にまとめた。接客にまつわるフレーズの他に、栗、北斎、オープンガーデン、シャトルバスなど小布施ならではの説明文も掲載。24 ページ、カラー、1 万部。

事業効果

○ワークショップを体験することで、外国人と接することに物怖じしなくなった。

○ワークショップで、直接外国人から英語を学ぶことで、言葉の面で安心感が生まれ、自信をもって会話し、おもてなしができるようになった。

○英会話帖を作成したことで、職場で互いに確認し合いながら英会話をブラッシュアップすることができた。

○新たに 2 名がボランティアガイドに加わった。

○参加各自に協働意識が生まれ、インバウンド対策への積極性が生まれた。

今後の取り組み

○ワークショップの開催 今後出てくる様々な疑問を解決できる場を設け、外国人観光客へより充実した、質の高いおもてなしができるよう強化していく。

○町民同士の交流機会の提供 外国人移住者が増えていることもあり、町民同士の交流を深め、地域活性化への足がかりとする。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

- ①英語による観光案内の充実
- ②外国人観光客への充実したおもてなし。
- ③町内に住む日本人、外国人の連携の強化。

※自己評価 【A】

【理由】日々外国人客と接するサービス業の人々の、大小様々な疑問・不安に応えることができた。継続することで、将来より質の高いおもてなしが提供できることにつながられた。

(別記様式第12号) (第3の8関係)